

立命館国際地域研究(1991～2012)

立命館国際地域研究 33(2011.3)

| 論 文 | 著 者 |
|--|-----------------|
| 日本および中国の半導体産業の動向 | 肥塚 浩 |
| EUにおける視聴覚メディア政策と公共放送 —市場と文化の間で— | 安江 則子 |
| 中国対外政策の新段階 —国際秩序への適応と新秩序創造— | 中川 涼司 |
| グローバルシティにおける移民社会の動態と構造 —ニューヨークとフランクフルトを事例として— | 東 自由里 進藤 修一 |
| メキシコ市における市民参加の展開と80年代後半の民衆運動 イタリアの若者の社会的状況 —増える高学歴者と家族・教育・雇用制度の特徴— | 小林 操史 土岐 智賀子 |

立命館国際地域研究 32(2010.10)

| 特集:平成21年度外務省「日中研究交流支援事業」21世紀東アジアにおける新たな日中関係—現状と課題— | |
|--|-------|
| 論 文 | 著 者 |
| 日中研究交流の成果と今後の課題 | 松野 周治 |
| 東アジア経済協力推進に必要な新たな考え方 | 張 蘊嶺 |
| 新政権下の日中関係 | 垂 秀夫 |
| 中日経済貿易関係制度構築の東アジア経済統合に対する意義 | 王 海峰 |
| 冷戦イデオロギーと中国認識 —グローバル・モラル・ミニマムの構想— | 孫 歌 |
| 近代化、グローバル化、中国化:超長期的観点からみた世界のなかの日中関係 | 山下 範久 |
| グローバル・リバランスと東アジア経済統合 —中国の視点— | 李 向陽 |
| ポスト危機時代の日本対中投資の新しい機会と展望 | 張 季風 |
| 構築中の東アジア経済共同体とその発展傾向 | 庄 国土 |
| メコン地域開発と日本の政府開発援助 —強まる日中の競合— | 西澤 信善 |

| 論 文 | 著 者 |
|-------------------------------------|---|
| ジャカルタの都市発掘プロセスと環境変化—水環境と文化遺産の課題を中心に | 吉越 昭久、香川 雄一、加藤 政洋、 谷口 智雅、安達 一、鈴木 和哉、 山下 亜紀郎、一ノ瀬 俊明、井上 学、 白 迎玖、片岡 久美、遠藤 崇浩、 白木 洋平、戸所 泰子、 Josaphat Tetuko Sri Sumantyo、 谷口 真人 |
| 東アジア地域における高等教育協力の展開と国際レジーム形成 | 藤山 一郎 |

立命館国際地域研究 31(2010.3)

| 論 文 | 著 者 |
|--|-------|
| 中国オンライン・デジタルコンテンツ・ビジネス企業家と社会的形成モデル | 中川 涼司 |
| 中国におけるバイオエタノールの実用化 —中国主要量産企業4社の現地調査を踏まえて— | 楊 秋麗 |
| 世界公益とはなにか —グローバル・モラル・ミニマムの構想— | 池田 文佑 |

立命館国際地域研究 30(2009.12)

| 論 文 | 著 者 |
|---|-----------------------|
| エスニック資本の視点からみるアメリカ華人経済の発展 | 王 望波 |
| 現代中国女性の東南アジア移動とその影響 | 施 雪琴 |
| 次世代エコカーの開発・普及に関する日中の新動向および今後の課題 | 徐 林丹 |
| 大学による国際協力事業展開の要因 —ODAの国民参加と大学の「第3の使命」— | 藤山 一郎 |
| 中国における建築省エネルギー・クリーン開発メカニズム(CDM)事業の導入可能性に関する研究 —浙江省湖州市を事例として— | 任 洪波 周 璋生 仲上 健一 |
| 日・韓の中学校「社会科(公民的分野)」教科書内容の比較検討 —包括的平和教育」の観点から人権に関わる人物分析を中心に— | 孫 美幸 |

| 報 告 | 報 告 者 |
|--|-------|
| 今日のラオスに於ける中国の進出 —備忘録:現地報道の定点観測(2007年3月から2009年2月まで)— | 藤村 和広 |

| 編 集 後 記 | 著 者 |
|--|------|
| 国際シンポジウム「グローバルディアスポラ経済と文化的理解」の寄稿論文に寄せて | 守 政毅 |

立命館国際地域研究 29(2009.3)

| 論 文 | 著 者 |
|---|--------|
| EUの近隣諸国政策(ENP)のインパクト —近隣諸国の安定化及びEU政策との調和— | 堀口 英男 |
| 医療労働者の国際移動と医療人的資源政策 —南アフリカの事例— | 佐藤 千鶴子 |
| 大学とNGOの連携に基づく国際貢献への模索 —立命館大学のスリランカにおける社会開発事業を事例に— | 藤山 一郎 |
| イスラーム主義運動におけるリージョンとローカリティの葛藤 —ヨルダンのイスラーム行動戦線党(IAF)の事例— | 吉川 卓郎 |
| 賢慮・正義・解放 —英国学派の倫理観と現代世界政治理論における展開— | 池田 文佑 |

| 報 告 | 報 告 者 |
|---|-------|
| MRC水力発電計画に関する地域マルチ・ステークホルダー協議会合 ー(ビエンチャン、2008年9月25日ー27日)に出席してー | 笠井 利之 |

立命館国際地域研究 28(2008.12)

| 特集:東北アジアにおける多角的「互恵」関係構築の研究 | |
|--|------------------|
| 特集にあたって | 松野 周治 |
| 「装備製造業基地の振興と「産学研連携」の役割 ー遼寧省装備製造業の分析を中心にー | 徐 繼舜 楊 秋麗 |
| 日中企業協力の新時代 | 劉 偉東 (訳)中川 涼司 |
| 環境不確実性(PEU)が製造業企業の革新に与える影響 ー大連市装備製造業64社の実証研究ー | 郭 曉丹 (訳)方 帆 |
| 中国遼寧省における「五点一線」発展戦略に関する研究 | 曹 志来 (訳)張 兵 |
| 中国のIT企業家とその形成モデル | 中川 涼司 |
| 中国東北三省における日中企業の戦略的提携の可能性 | 守 政毅 |

| 論 文 | 著 者 |
|--|-------|
| 在日コリアン企業家の起業動機と起業類型化研究 | 林 永彦 |
| 日本の高等教育政策と東アジア地域構想 ー「国際化」を通じた役割アイデンティティの模索ー | 藤山 一郎 |
| 中国の宗教政策と日常的宗教実践 ー上海のプロテスタント公認教会の日常的場面からの考察ー | 村上 志保 |

立命館国際地域研究 27(2008.3)

| 論 文 | 著 者 |
|---|--------------------------|
| 車載LANプロトコル標準化をめぐる日欧コンソーシアムの協調 ーJasParとFRCを対象としてー | 徳田 昭雄 |
| 「東北振興戦略」における国有工業企業改革の実態 ー吉林市の事例を中心としてー | 楊 秋麗 |
| 人口減少期の地域ビジョン策定プロセスにおける ステイクホルダーの関与形態に関する研究 | 城月 雅大 大槻 知史 鐘ヶ江 秀彦 |
| 日系自動車伝送部品メーカーの国際展開 ー北米・欧州・東アジアの海外現地法人分析ー | 佐伯 靖雄 |

| 研 究 ノ ー ト | 著 者 |
|--|------|
| 近未来予想図としての『沖縄対話』 ー沖縄中国朝鮮族労働者の受け入れ課程と現状分析ー | 松永 歩 |

| 調 査 報 告 | 報 告 者 |
|---|---|
| 中国の新発展戦略と東北アジア地域協力の可能性 ー天津滨海新区調査報告にー | 松野 周治 楊 軍 楊 秋麗 守 政毅 中川 涼司 曹 瑞林 |

立命館国際地域研究 26(2008.2)

| 特集:現代韓国の過去清算についての法的論議 | |
|--|-------------------------|
| 特集にあたって | 徐 勝 |
| 国家機関による人権侵害、その司法的救済方案 ー刑事再審と民事時効をめぐる問題を中心にー | 韓 寅燮 |
| 韓国における韓日過去清算訴訟 | 金 昌祿 金 仁徳 (監修)徐 勝 |
| 日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会の活動と課題 | 李 在承 (監修)徐 勝 |
| 過去清算の法哲学 | |

| 論 文 | 著 者 |
|--|------|
| 韓国の在外同胞移住労働者 ー中国朝鮮族労働者の受け入れ課程と現状分析ー | 鄭 雅英 |
| 日本の経験から見た中国の大都市問題の現状と課題 | 張 兵 |

| 研 究 ノ ー ト | 著 者 |
|--|-------|
| フィリピン国軍将校の昇進過程と任命委員会 ー任命委員会の資料にみる将校と政治家の関係を中心にー | 山根 健至 |

立命館国際地域研究 25(2007.3)

| 論 文 | 著 者 |
|--|-------|
| 再生可能エネルギー普及に関するイギリスの経験 ー競争入札制の仕組みと実際ー | 大島 堅一 |
| チャイナ・ランド・ブリッジの発展方向と検討問題 ー先行のシベリア・ランド・ブリッジを教訓にー | 高 玲 |
| 中国経済の過熱現象に対応した引き締めを政策に関する一考察 ー2003年から2005年を中心にー | 曾 榮欽 |
| 中国における流域レベルの水汚染抑制策と経済発展 ー黄浦江上流水源保護区における取引可能な許可証制度の実際ー | 知足 章宏 |
| 民主主義定着期のフィリピンにおける政軍関係 ー議会政治における国軍の影響力の減少ー | 山根 健至 |
| 持続可能な都市実現にむけた都市シミュレータ開発に関する基礎報告 ータイ王国 バンコク首都圏を事例としてー | 井上 夕葵 |

| 書 評 | 著 者 |
|--|-------|
| 西口清勝、夏剛編著『東アジア共同体の構築』 —ミネルヴァ書房、2006年8月31日、314ページ— | 坊野 成寛 |

立命館国際地域研究 24(2006.3)

| シンポジウム報告 | 報告者 |
|--|-------|
| 中国・韓国・台湾からの留学生の意識変化 —21世紀以降の数年を中心に— | 山田 人士 |

| 論 文 | 著 者 |
|---|-------------------------------|
| インドの初等教育の発展と今後の課題 | 中村 修三 |
| 中国における第三世代移動通信を巡る論争 | 中川 涼司 |
| 中国の軍事新思考と覇権軍国化の危険性・安全弁に見る兩岸関係と東北亜細亜安保 移民コミュニティの再創造 —1990年代のニューヨーク市における市民活動— 多国籍企業の資金調達と対外直接投資 —アメリカ多国籍企業ヨーロッパ子会社の資金調達 中国商業健康保険の現状と展望 —社会医療保障体系の中での役割— | 夏 剛 東 自由里 小西 宏美 徐 林卉 |

| 研究ノート | 著 者 |
|--|---------------|
| 北朝鮮の経済成長に関する論争の一考察 —1965年から80年代までを中心に— モデルシミュレーションを用いた持続可能な交通に関する研究ノート | 金 向東 井上 夕葵 |

立命館国際地域研究 23(2005.3)

| 特集 東北アジア地域経済協力の進展と前提条件 | |
|---|---------------------------|
| 特集にあたって | 松野 周治 |
| 2004年延辺調査並びにワークショップ報告 | 松野 周治 中川 涼司 裴 光雄 |
| 延辺調査報告 —延辺朝鮮族のアイデンティティと高句麗史をめぐる韓中葛藤を中心に— | 徐 勝 |
| 大連における東北アジア国際物流シンポジウムと経済調査について | 松野 周治 曹 瑞林 小島 宏 |
| 東北アジアの地域経済協力と大連港並びに大連市の役割 | DIAO Cheng Bao (訳)曹 瑞林 |
| 大連地域と京都府北部地域との経済交流活性化をどのように進めるか 金正日政権の統治メカニズム:先軍政治とは何か | 本田 豊 巖 敏俊 |
| 日台間の国際結婚 —その法的処遇の変遷に焦点を当てて— | 呉 春宜 |

| 論 文 | 著 者 |
|---|--|
| 多国籍企業の国際事業提携に関する予備的考察 —提携・委託・系列化・資本参加・共同経営の象限的確定— | 関下 稔 |
| 中国の海外人材導入の新対策 アフリカにおける人間の安全保障の挑戦 —安全の欠如・暴力・略奪による地域化— 中国の社会保健制度 —都市・農村二元構造の実態— アジアの開発途上国における水質汚染問題と 下水事業への民間参入(Private Participation)の現況・経験 —オーラル・デモクラシーの挑戦 民主化指標と識字率との相関分析を通じて— | 郭 玉聡 タニエル・C・ハッチ (訳)和田 賢治 徐 林卉 知足 章宏 藤原 郁郎 |

立命館国際地域研究 22(2004.3)

| 特集 現代韓国における市民社会と公共圏 | |
|--|------------------|
| 特集にあたって | 文 京洙 |
| 韓国の市民社会に対する分析枠組みの模索 | 呉 シ玄鉄 訳:浅羽 祐樹 |
| インターネットと第16代韓国大統領選挙: 電子的な公論の場の可能性を中心に | 朴 東鎮 訳:浅羽 祐樹 |
| 民主化以降の韓国政治と地域主義に関する支配言説: 「3金清算論」の言説同盟とそのイデオロギー的機能を中心に | 朴 常勲 訳:浅羽 祐樹 |
| 市民社会と民主主義、そして過去清算: 済州4・3抗争真相糾明運動を中心に | 許 尚秀 訳:村上 尚子 |

| 特集 東北アジア地域経済協力の進展と前提条件 | |
|--|-------------------------------|
| 特集にあたって | 松野 周治 |
| ワークショップ | 松野 周治 |
| 「北東アジア平和と繁栄の諸条件—地域協力の現状と課題—」と仁川(インチョン)調査 | 徐 勝 裴 光雄 林 聖太郎 中川 涼司 |
| 北東アジア地域経済協力の現状と課題—中国東北延辺地区を中心に— | 松野 周治 汪 正仁 裴 光雄 |

| | |
|--|------------|
| ワークショップ 「北東アジア地域経済協力の進展と前提条件—中国東北を中心に—」の二つの論点について | 松野 周治 |
| 中国東北的振興と東北経済合作 | 金鳳徳 安 岡 |
| 吉林省延辺朝鮮族自治区と東北亜経済合作現状及課題 | 朴 承憲 |

| | |
|---|--------------|
| 中国税制の過渡的性格と個人所得税 エネルギー・環境分野をめぐる域内協力 －東アジア経済共同体の結成に向けて | 曹 瑞林 張 文青 |
|---|--------------|

| 論 文 | 著 者 |
|---|---|
| 多国籍企業の海外子会社とはなにか(2) －企業組織論的アプローチの批判的検討－ 中国農村部における医療保障問題 立命館大学国際地域研究所創設15周年懸賞論文受賞論文 韓国における日本大衆文化統制についての法的考察 ミャンマーの首都ヤンゴンへの労働移動と就労実態 －縫製工場の調査より－ 中国における外国直接投資導入政策の始まりに関する一考察 | 関下 稔 徐 林卉 中村 知子 Nang Mya Kay Khaing 下野 寿子 |

| 研 究 ノ ー ト | 著 者 |
|---|------|
| NPTにおける不平等性と核軍縮の論理 －「秩序立った平等」の模索, 1967～2000－ | 藤 史郎 |

立命館国際地域研究 21(2003.3)

| | |
|-----|------|
| 巻頭言 | 高橋正義 |
|-----|------|

| 論 文 | 著 者 |
|---|--|
| 90年代前半期における日本の対外投資の諸特徴 －その不安定性と対米ファイナンスの後退－ 多国籍企業の海外子会社とはなにか(1) －ミシャレの世界経済認識と海外子会社把握に関する批判的検討－ カンボジア・トンレサップ湖地域の環境保全についての予備的考察 フィリピン・クラーク空軍基地跡地の環境汚染被害 人間安全保障の政治性－提唱の背景と日本にとつての意味－ 北東アジア経済統合の新視点 北東アジア国際物流における経済競争力 21世紀に向けての韓国の国際物流戦略－光陽港開発を中心に－ 「京都議定書」と中国の環境状況及び基本対策 中国の付加価値税とその特質 | 奥田 宏司 関下 稔 笠井 利之 大島 堅一 河辺 一郎 金 鳳徳 辻 久子 汪 正仁 李 長明 (訳)中川涼司 張文青 曹 瑞林 |

| 研 究 ノ ー ト | 著 者 |
|------------------|------|
| UNHCRの平和構築に果たす役割 | 黒澤 啓 |

| 調 査 報 告 | 報 告 者 |
|--|--------------------------------------|
| ロシア極東都市経済・社会開発調査報告 | 林 堅太郎 松野 周治 ダイカーデヴィッド 山田 一隆 |
| 丹東経済調査報告 －中国遼寧省丹東市における日中韓朝ネットワークを中心に－ | 松野 周治 裴 光雄 坊野 成寛 山田 一隆 |

| 書 評 | 著 者 |
|---|----------------|
| 代田 純 著 『日本の株式市場と外国人投資家』 山田 満 著 『多民族国家マレーシアの国民統合－インド人の周辺化問題－』 | 小西 宏美 井出 文紀 |

立命館国際地域研究 20(2002.3)

| | |
|---|---|
| A Theory of International Relations in the Era of Globalization | MATSUSHITA Kiyoshi |
| Cross-Strait Impasse: One Country Two Systems or One Country Three Systems? | SHEE Poon Kim |
| A New Century of the Japan-US Defence Cooperation for the Far Eastern Security: An Analysis of the New "Guidelines" in the Light of International Law Boundaries and Feminist Politics | YAMAGATA Hideo OKANO Yayo |
| The Relations of Chongryon(Chosen-Soren) with North Korea and the Integration of Koreans in Japan The Formation of the Korean Community in Japan and the April 3rd Incident of Cheju Island in Korea | CHIN Hee-gwan MUN Gyong-Su |
| International Law for the New Millennium: Report to the XV Congress of IADL, 16-20 October 2000 | International Law Group of the Law Section of the Association of Democratic Scientists in Japan |

立命館国際地域研究 19(2002.2)

| 特集 環日本海国際地域の経済交流と知的イニシアチブ <環日本海研究プロジェクト> | |
|--|--------------------------------|
| 特集を組むにあたって | 松野 周治 |
| 新たな知的社会基盤への挑戦 Development of Networks for Regional Cooperation in Northeast Asia: Cities, Ports, Institutions and Universities アライアンスキャピタリズムの実相 －多国籍企業のアジアへの進出と多様な結合関係の形成－ | 林 堅太郎 MATSUNO Shuji 関下 稔 |
| Trade Policy for the Countries of the Former Soviet Union (FSU): Can the Advanced Industrial Countries Help ? | David A. DYKER |

| | |
|---|---------------|
| 中国の経済改革と大都市財政 —大連市財政を中心に— 米朝関係の新展開 —対北朝鮮政策をめぐる米国内の政策論争に着目して— | 曹 瑞林 中戸 祐夫 |
|---|---------------|

| 論 文 | 著 者 |
|--|-------|
| 中国のローカル(河南省)における環境問題の現状と要因分析 | 周 緯生 |
| 1990年代のイスラエル政党システムの変容 —制度・政策・イデオロギー— | 浜中 新吾 |
| 戦後日本政治の軌跡と「平和憲法」の在り方に対する批判的考察 —韓国および近隣アジア諸国の観点から— | 李 尚峰 |
| アメリカ多国籍企業の蓄積活動における操作過程の分析 —生産・流通活動から蓄積活動への移行過程について— | 篠原 美江 |

| 書 評 | 著 者 |
|--|------|
| 谷口 誠 著『21世紀の南北問題—グローバル化時代の挑戦』 2000年度プロジェクト研究・課題別共同研究会活動報告 | 唐沢 敬 |

立命館国際地域研究 18(2001.3)

| | |
|-----------------------------|---|
| IN MEMORIAM: HOTTA Makitaro | Louis W. GOODMAN JIDO Yuji ANDO Tsugio OKUBO Shiro |
|-----------------------------|---|

| | |
|--|--|
| Possibilities of Post -Cold War International Orders in the Asia Pacific Region and China | |
|--|--|

| Preface | Author |
|---|-----------------|
| Legacies of the Cold War in Northeast Asia, The Case of North Korea"North Korea's Strategy of Encirclement?" | Jung Ha LEE |
| The Beijing-Tokyo Game and the U.S. Factor | Quansheng ZHAO |
| After the Fall: The Long-Term Outlook for Sustained East Asian Economic Growth | Stephen D.COHEN |

| Articles | Author |
|---|--------------|
| Changing World Economy and Emerging Economies in Transition | KARASAWA Kei |
| Rhetoric and Ideology of the British Gurkhas' Cohesion: An Analysis of "Gurkha Dimension" and Dashain Festival | UESUGI Taeko |

立命館国際地域研究 17(2001.1)

| 特集 朝鮮半島と日本の安全保障 <21世紀東アジアの安全保障と人権プロジェクト> | |
|---|---------------|
| 特集を組むにあたって | 徐 勝 |
| 北朝鮮・核ミサイル(衛星)の政治軍事学 -事実認識と討論のための問題提起- | 李 泳禧 訳:徐 勝 |
| 「ならず者国家」ドクトリンの適用と撤回 -クリントン米政権の対北朝鮮政策の帰結- | 菱木 一美 |
| 新旧ガイドラインの比較分析と日本外交 -朝鮮半島情勢との関連において- | 豊下 楷彦 |
| 冷戦後の日韓関係の特徴と課題 -構造的要因の変化を中心に- | 李 尚峰 |

| 論 文 | 著 者 |
|--|-------|
| 日本の戦後補償訴訟の現状と課題 | 松本 克美 |
| 安全保障輸出管理レジームの変容と国家間協調 -ココムを例として- | 内藤 智明 |
| 1920年代におけるデュボンのヨーロッパ進出 -モルガン商会の対ヨーロッパ戦略との関わりから- | 小西 宏美 |
| サプライ・サイドから見た西欧極右政党の類型 1999年度プロジェクト研究・課題別共同研究会活動報告 | 上西 秀明 |

立命館国際地域研究 16(2000.3)

| -Globalization and The Asia-Pacific Perspective- | |
|--|--------------|
| Preface | Author |
| Seeking a New Framework of Cooperation in the Asia-Pacific Region | Kei Karasawa |

| Articles | Author |
|--|--------------------|
| Power Transformation in World Politics: Beyond the Duality of the Anti-Nuclear Proliferation Regime | Makoto Kobayashi |
| Remaining Cold War Perceptions in New Crises: The United States and Japan's Foreign Economic Initiatives in East Asia | Keiji Nakatsuji |
| Security Dilemma and International Public Goods —U.S.-China Relations and Japan's Diplomacy— | Narahiko Toyoshita |
| The Role of Culture and Identity in National Economic Crises | Paul A. Kowert |
| Globalization and Global Issues in East Asia | Kei Karasawa |
| The United States and The Construction of a New Foreign Policy for Africa | Chris Alden |
| Polish Transformations 1989-1999 —The Difficult Art of Learning and Forgetting— | Piotr Poszajski |
| Analysis of Energy Demand and Potential of CO2 Emission Mitigation in China in Global System | Weisheng Zhou |
| The Political Economy of Trade Liberalization in China: A Vicious Circle in a Two-Level Game | Hisako Shimono |

立命館国際地域研究 15(2000.3)

| -アジア太平洋のコンテキストにおける日米関係- | |
|--|------------------------------|
| 基調報告 | Walter Russell Mead 石井 正文 |
| 論 文 | 著 者 |
| APECプロセスと日米両国の課題 | 小池 洋次 |
| グローバリズムの嵐と国民国家の体系 | 関下 稔 |
| 論 文 | 著 者 |
| 米国電気通信分野におけるWTO体制下の競争的市場環境構築に向けた外資規制変遷過程-高度情報社会の通商政策 | 永松 利文 |
| FSX共同開発と米国のテクノナショナリズム | 与原 裕介 |
| 遺伝資源の所有をめぐる南北問題 | 島川 浩子 |
| -スリランカの薬用植物を事例として- | |
| ミャンマーの都市化と経済発展 | Nang Mya Kay Khaing |
| 研 究 ノ ー ト | 著 者 |
| 多国間投資協定(MAI)の挫折の背景と今後の展望 | 山浦 雄三 |
| 活 動 報 告 | 報 告 者 |
| 1998年度プロジェクト研究・課題別共同研究会活動報告 | |

立命館国際地域研究 14(1999.3)

-中東・中央アジアの新しい国際関係-

| 論 文 | 著 者 |
|---|-------------------------|
| 中東和平プロセスとイスラエル社会 | 井上 純一 |
| カスピ海石油ガス資源開発の現段階 | 清水 学 |
| -米・イラン関係を中心に- | |
| 中東産油国の政治経済構造の変化と欧米石油会社の「脱中東石油」 | 則長 満 |
| 中東産油国の市場経済改革と市場形成力 | 唐沢 敬 |
| Agency and Collective Identity in International Politics | PAUL A. Kowert |
| フィリピン及びタイにみる自動車産業育成と経済発展 | 山浦 雄三 |
| 戦略的思考-志向を巡る現代日・中の「文化溝」(観念・視野篇) | 夏 剛 |
| The Danwei and the Cultural Revolution: A Review Essay Shinichi Tanigawa | Shinichi Tanigawa |
| 研 究 ノ ー ト | 著 者 |
| 最近の環日本海地域をめぐる研究課題 | 林 堅太郎 大森 功一 中戸 祐夫 |

立命館国際地域研究 13(1998.3)

Special Issue for the Tenth Anniversary of the Institute of International Relations and Area Studies, Ritsumeikan University

| | |
|---|---------------------------------|
| Food and Resources Issues in the 21st Century | Lester Brown |
| The Eastward NATO Expansion: The Beginning of Cold War II? | Johan Galtung |
| Sustainable Development in the Asia-Pacific Region | Regional Integration and |
| Pacific Region Articles Can Japan Lead Asia? | Kei Karasawa |
| The Multilateral Free Trade System and Environmental Preservation in the Asian-Pacific Region | Kei Karasawa |
| Regional Economic Integration and Foreign Direct Investment in the Asia-Pacific | Kiyohiko Fukushima |
| Globalization and the Emerging Asia-Pacific Region | G. John Ikenberry |
| Contending Perspectives on Emerging Regionalism in the Asian-Pacific | Book Review Makoto Kobayashi |

立命館国際地域研究 12(1998.3)

国際地域研究所設立10周年記念シンポジウム

| 21世紀の食料・資源問題-持続可能な地球経済は可能か- | レスター・R・ブラウン 三橋 規宏 小山 修 松原 豊彦 |
|--|---------------------------------------|
| 論 文 | 著 者 |
| 現代中国の経済発展と労働力・人口問題 | 松野 昭二 |
| 中国における外資導入政策の展開と就業システムの変容 | 岩田 勝雄 田 曉利 |
| 未来への進路は、一つしかないのか -「新型経済」と「日本売り」に関する考察- | エンノ・ベルント |
| 国際財務戦略研究会報告 国際課税の諸問題 1997年度プロジェクト研究・課題別共同研究会活動報告 | |

立命館国際地域研究 11(1996.3)

| 論 文 | 著 者 |
|---|----------------|
| East Asian Economic Growth: Challenges Ahead | YOU Jong-Il |
| The Problem of Korean Migration in Russia: Focusing on 1937 Forced Migration | LEE Aeliah |
| The Meaning of "the Sea of Japan(Tong Hai)" | SEKI Hiroharu |
| Rim in the Post Cold War Periods | |
| Networking of Higher Educational Institutions in the Asia-Pacific Region | HOTTA Makitaro |
| 東南アジア華人企業グループの形成と発展特徴 | 李 国梁 |

| | |
|---|--------------------------|
| 中国における労働力移動と労働市場の形成 | 岩田 勝雄 田 暁利 石黒 馨 |
| ボックス・アメリカナの国際政治経済学 国際情報・メディア研究 日米関係とマスコミ報道 -相互理解と相互誤解のはざままで- 東アジアの経済発展とメディア構造の変化 アメリカの1996年テレコム法・放送とケーブルを中心として | 岡村 黎明 高橋 文利 堀田 牧太郎 |

立命館国際地域研究 10(1997.3)

| シンポジウム 21世紀の国際関係理論への展望 | |
|------------------------|---------------------|
| 司会 | 加藤 周一 ヨハン・ガルトウング |
| 報告 | 関 寛治 |
| 討論 | 初瀬 龍平 佐々木 寛 |

| 論文 | 著者 |
|---|--|
| 覇権安定論から覇権協調論へ Is a Window of Opportunity Still Open? The Role of Third Party Intervention in Conflict Resolution Neoliberalism and the Crisis of the Japanese Style of After-Fordism | 石黒 馨 TOSA Hiroyuki SHINODA Takeshi |

| 研究ノート | 著者 |
|---------------------------------|-------|
| 自治体レベルからみた「安全保障」 -平和研究の観点から- | 池尾 靖志 |

| 資料紹介 | 著者 |
|---------------------|--------------------------|
| フェルナン・ブローデルと国際政治経済学 | HELLEINER Eric 高嶋 正晴訳 |

| 書評 | 著者 |
|---|-------|
| 佐藤 誠 編 「地域研究調査法を学ぶ人のために」 1996年度プロジェクト研究・課題別共同研究会活動報告 | 藤巻 正巳 |

立命館国際地域研究 9(1996.3)

| 論文 | 著者 |
|--|--|
| Pearl Harbor, Hiroshima and The World Order 覇権協調の国際政治経済学 -3つの構成部分と3つの理論的系譜- Meta-Politics of International Relations アフリカにおけるエイズ流行と労働力移動 | SEKI Hiroharu 石黒 馨 KOBAYASHI Makoto 福士 美幸 |

| 研究ノート | 著者 |
|---|---|
| 計量国際関係論研究のフロンティア -ディビット・シンガー・プロジェクトをめぐって New Perspectives on Managed Trade: Its Implications for Japan インターネット・シンポジウム Spanning the Bridge over the Asia- Pacific Region in the 21st century | 古賀 由紀子 関 寛治 NAKATO Sachio MUKAI Juichi NG Chee Yuen MULLEN Michael |

| 資料紹介 | 著者 |
|-------------------|------------------|
| 1993年のERMの緊張と金融対策 | 欧州委員会 福田 昭良 訳 |

| 書評 | 著者 |
|--|------|
| 「講座・世紀末の世界政治」鴨 武彦編集 1995年度プロジェクト研究・課題別共同研究会活動報告 | 関 寛治 |

立命館国際地域研究 8(1995.8)

| | |
|----|------|
| 序文 | 関 寛治 |
|----|------|

| 論文 | 著者 |
|--|---|
| 仮想現実「東アジアの奇跡」からみた世界銀行の分析 A Reflection on the Korean Miracle: Toward a New Concept of Development 東アジアの高度成長とエネルギー・環境制約 北東アジアにおける経済協力の政治学 -北朝鮮ファクターと主要大国- 中国・東北三省の経済開発と北東アジア経済協力の展望 Trade Policy, Worker Rights, and the Environment: The Special Case of China 東北アジア華人のネットワークとエスニシティ 北東アジアにおけるコリアン・ネットワークの形成とエスニシティ 北東アジアにおける文化・情報交流 -中国及び日本における法学研究において 図們江(豆満江)三角地帯開発に伴う問題点 -立命館大学・アメリカン大学合同調査団に参加して | スティーブン・アーノルド 藤山 一郎 訳 Jong li You 唐沢 敬 金 炯国 佐藤 千鶴子 訳 王 勝今 James R. Lee 小木 裕文 文 京洙 高見澤 磨 吉成 大志 |

立命館国際地域研究 7(1995.3)

| | |
|----|------|
| 序文 | 関 寛治 |
|----|------|

特集 共生の世界秩序に向けて-第5回立命館大学-アメリカン大学共同コンファレンス

| | |
|--|---|
| Developing Environmentally Sound and Sustainable in Southeast Asia - Focus on Urban Transport and Environment - | NAKAGAMI Kenichi OYA Kenji ISHIZAKI Yoshiyuki |
| 開発と人権-東北アジアの場合 | 徐勝 |
| What Price War? Lessons from Tanzania | Joyce L.Francis |

| 論文 | 著者 |
|---|---------------|
| 際技術移転に関する調査報告 -インドにおける自動車産業を中心として | 慈道 裕治 |
| "Micro-Community" Enterprises and "Unit System" "Society in Socialist China" | ARAKI Takeshi |
| ポスト・アパルトヘイトの南アフリカ共和国における開発NGOの役割・課題 | 白戸 圭一 |

| 研究ノート | 著者 |
|--|------|
| インドの科学技術振興策 -1993年のインド政府の新技术政策草案をめぐって | 大内 穂 |

研究会ニュース

立命館国際地域研究 6(1993.3)

| | |
|----|------|
| 序文 | 関 寛治 |
|----|------|

特集 中国経済の現段階 1

| I. 論文 | 著者 |
|---------------------------------|-----------|
| The Xia Hai Phenomenon in China | John Wong |

| II. 工場調査 | 報告者 |
|------------------------------|-------|
| 1993年度文部省国際学術研究費による現地調査概要 | 森野 勝好 |
| 中国機械工業における外国技術導入-現地実態調査をもとに- | 安藤 哲生 |
| 中国自動車工業における技術移転の実態 | 王 健 |
| 中国におけるNC工作機械の普及と問題点 | 森野 勝好 |

| 論文 | 著者 |
|--|--------------------------|
| Evolucion del Empleo de los Trabajadores Extranjeros en Japon: Situacion Actualy Prespectivas de Futuro SAKAI Ken | SAKAI Ken SATO Makoto |
| エスニック・ツーリズムとカリブ族のアイデンティティ強化について -カリブ海地域島嶼国家における観光と文化の関係についての1事例 | 江口 信清 |

| 書評 | 著者 |
|---|------|
| 井上伊知郎著「国家通貨についての一考察 -国際通貨ドイツマルク成立との際会」 | 向 壽一 |

研究会ニュース

立命館国際地域研究 5(1993.3)

| | |
|---|--------------------|
| Preface | SEIKI Hiroharu |
| Challenges and Opportunities in International Security | William H. Kincade |
| The Proposal on the Swap between Developing Countries' Debt and Military Budget the Environmental Problems in Global Scale | MUKAI Juichi |
| The Impact of Disarmament on the U.S. Japan Economies - Simulation Analysis by Small World LINK Model - | INADA Yoshihisa |
| Where have all the Leaders Gone? - Europe, Japan and the United States in the New Post -hegemonic International Economy | Stephen J. Silvia |
| Enforcement of International Law in the Post Cold War Era New Stage of University Exchange Program as a Frontier of | Tom Farer |
| Alternative Approach to Global Development Program of the International Seminar on Cooperation for Stability, Security and Development: The Role of Europe, the United States and Japan | SEIKI Hiroharu |

立命館国際地域研究 4(1993.3)

| | |
|----|------|
| 序文 | 関 寛治 |
|----|------|

特集 環境問題

| 論文 | 著者 |
|---|-------------------|
| 地球環境保全と世界経済の課題 | 唐沢 敬 |
| Environmental Considerations in Development Projects and Conditions of Sustainability Activities of Osaka Industrial Association | NAKAGAMI Ken'ichi |
| -Tri-Party Cooperation of Government, University, Industry- A Search for Approaches to Sustainable Regional Development: | MIZUTANI Tsutomu |
| Focus on Southeast Asian Countries | OYA Kenji |
| 国民国家の変容と国境概念 | 清野 正義 |
| BRIDGING BLOCS: 地球的な安全保障システムにおける日本と米国 | Tom Farer |

| 研究ノート | 著者 |
|----------------------------|-------|
| サウスオーストラリアにおける干ばつと小麦収穫量の変動 | 片平 博文 |

研究会ニュース

立命館国際地域研究 3(1992.7)

| | |
|----|------|
| 序文 | 関 寛治 |
|----|------|

| 論 文 | 著 者 |
|---|-----------------|
| 日本企業の産業別国際競争力の実証分析 — 産業別マクロ計量モデルによる一考察 — | 稲葉 和夫 森川 浩一郎 |
| ドイツにおける「ネーション」概念の現実 | 高橋 秀寿 |

| 研 究 ノ ー ト | 著 者 |
|---|------------------------|
| Influence of the Periphery on the Center in the Global Modeling and Political Philosophy | SEKI Hiroharu |
| 日・米・東南アジアのトライアングルと90年代の世界経済 | 龍 昇吉 奥田 宏司 中村 雅秀 |
| 中国における立憲主義の形成と展開 — 立憲君主制論から「党立憲主義」まで — | 林 來梵 |

立命館国際地域研究 2(1992.3)

| | |
|----|------|
| 序文 | 関 寛治 |
|----|------|

特集 現代中国と国際関係

| | |
|--|---------------|
| 現代中国における「法治」の法構造 | 畑中 和夫 |
| Hong Kong's Outward Processing in China and the Economic "Hongkongization" of Guangdong | John Wong |
| China - ASEAN Economic Relations: Trends and Problems | Liao Shaolian |

| 論 文 | 著 者 |
|--|----------------|
| ЯНМА:ЭКОНОМИЧЕСКОЕ ПОЛОЖЕНИЕ ПРИ ВОЕННОМ РЕЖИМЕ СО МАУНГА | МΥΡΑΗΟΒΑ Α. Π. |
| 「南北問題」の展開と現代世界経済に関する覚え書き | 岩田 勝雄 |
| 世界システムと文化 | 清野 正義 |

| 研 究 ノ ー ト | 著 者 |
|--|-------|
| 稲作からみたインドネシア、フィリピンとわが国との文化比較 | 大同 淳之 |
| 石油価格変動と日本経済 — 過剰流動性(バブル)に対する油価の影響について — | 岸本 健夫 |

| 紹 介 | 著 者 |
|----------------------|------|
| 王叔文編著 「香港特別行政区基本法導論」 | 胡 錦光 |

研究会ニュース

立命館国際地域研究 1(1991.3)

| | |
|---------------------|-------|
| 『立命館国際地域研究』の発刊を祝う | 大南 正瑛 |
| 『立命館国際地域研究』の発刊にあたって | 関 寛治 |

| 特 別 寄 稿 | 著 者 |
|--|------------|
| India and the Asia-Pacific Economic Region | V.D.Chopra |

特集 国際平和研究の新次元

| | |
|-----------------------------|----------------|
| 湾岸・日本海・世界秩序 | 関 寛治 |
| The World as a Total System | Paul Smoker |
| United Nations Redux | Robert W.Gregg |

| 論 文 | 著 者 |
|--|-----------|
| ASEAN as the Fastest Growing Region of the Asia -Pacific in the 1990s | John Wong |
| 「双子の赤字」がアメリカ経済に与える影響について — 計量マクロモデルによるアメリカ経済分析 — | 本田 豊 |

| 紹 介 | 著 者 |
|--------------------|-------|
| 中国・朝鮮・ソ連の国境都市 — 琿春 | 井出 啓二 |

| 書 評 | 著 者 |
|---|-------|
| The Ner Wave of Japanese Investment in ASEAN by Pasuk Phongpaichit | 西口 清勝 |

研究会ニュース